

蒸気出芽器

取扱説明書

SE-123V1.243.363
483.723.1083

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに 1
- 安全のために必ずお守りください 2
- 各部の名称とはたらき 4
- 使用前の準備 8

ご使用にあたって

- 作業のしかた 9

知っておきたいこと

- 長期格納 17
- 不調の原因と処置 18

その他

- 仕様 19
- オプション 19
- 安全確認一覧表 20

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使い方、保守点検等について記載してあります。

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

⚠ 警告：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

重要：もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

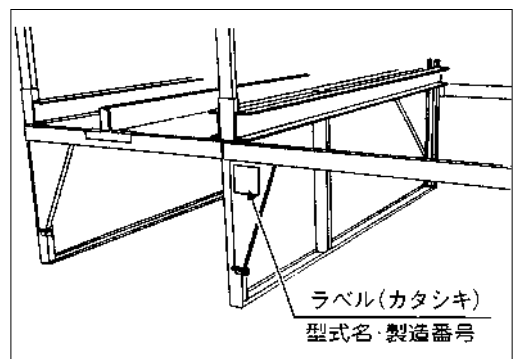
補足：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



⚠ 警告

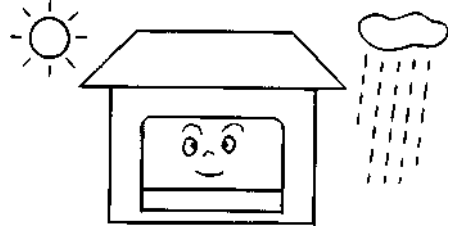
- 本機は種籾の出芽、催芽用として設計されています。その他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠ 安全のため必ずお守りください

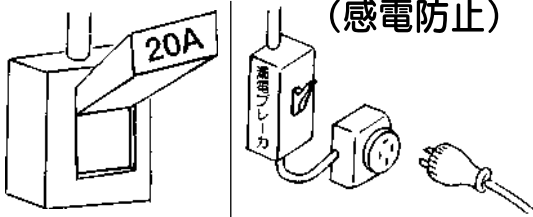
使用前にこの取扱説明書をよく読む

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

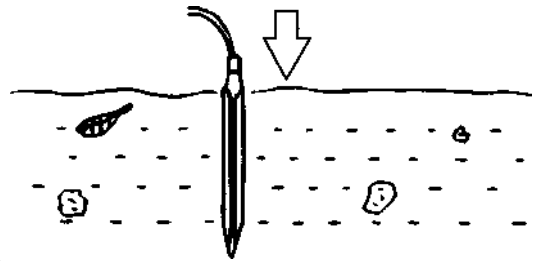
作業場所は直射日光、風雨の当たらない屋内で



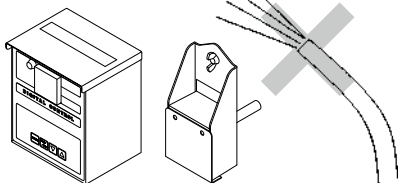
必ず型式に合った容量のブレーカ・漏電ブレーカを使用する
(感電防止)



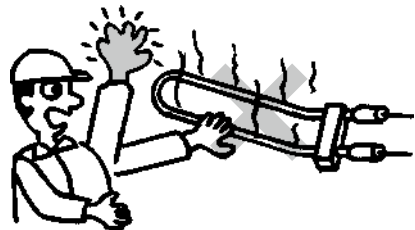
アース棒は必ず地中に埋設



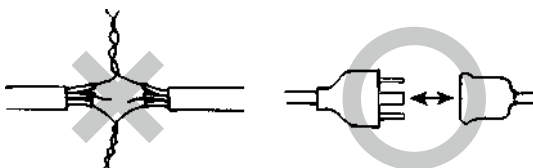
コントロールボックス、センサーボックス (723・1083) には水をかけない



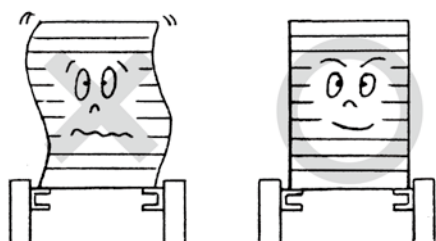
ヒーターの高温部には絶対に手を触れない



電源コードの延長はオス・メスの防水コネクタで接続
(感電・火災防止)

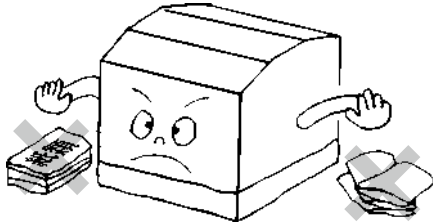


箱の積重ねは傾きのないようにまっすぐに

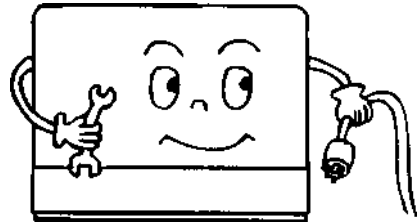


⚠ 安全のため必ずお守りください

出芽器の周辺には物を置かない
(火災防止)



点検はスイッチを切り、プラグ
を抜いてから

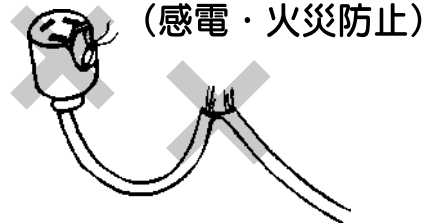


異常発生時はすぐにプラグを
抜く

- 感電する場合
- 温度が異常な場合



コードやプラグがいたんだら
すぐに交換



使用前に安全ラベルをよく読む

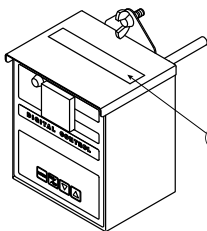
- 蒸気出芽器には次の安全ラベルが貼ってあります。
よくお読みになって、理解した上で作業してください。

① 品番 22132-3115-1

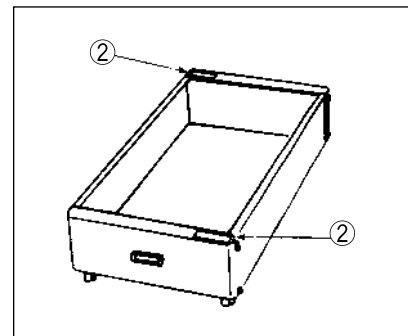
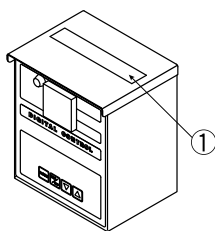
⚠ 注 意

1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。

SE-123V1~483



SE-723・1083



② 品番 11309-5113-1

⚠ 注 意

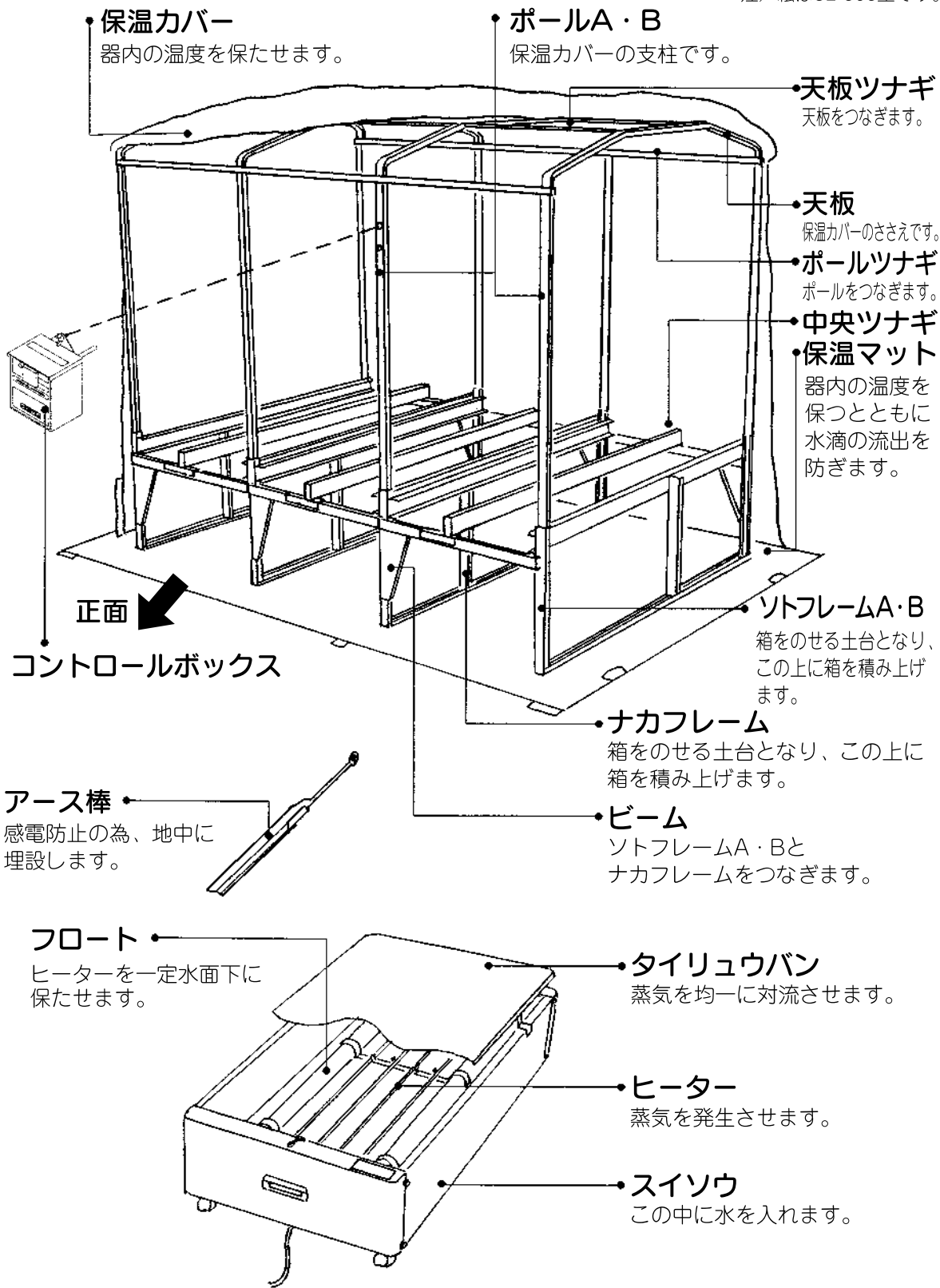
通電中、または通電OFF後30分
間はヒーター部に触れない事。

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき

●SE-123V1～483

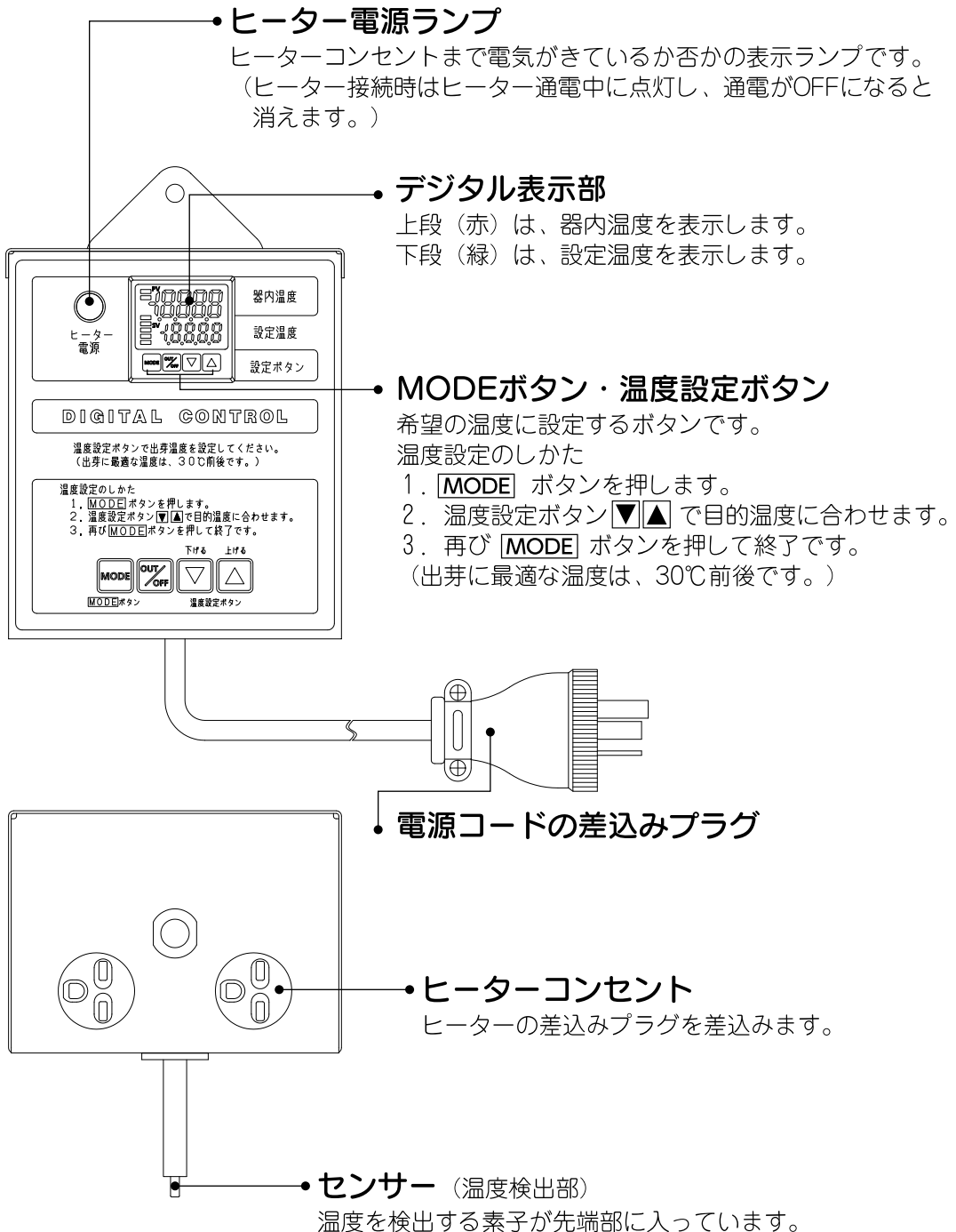
注) 絵はSE-363型です。



■コントロールボックス

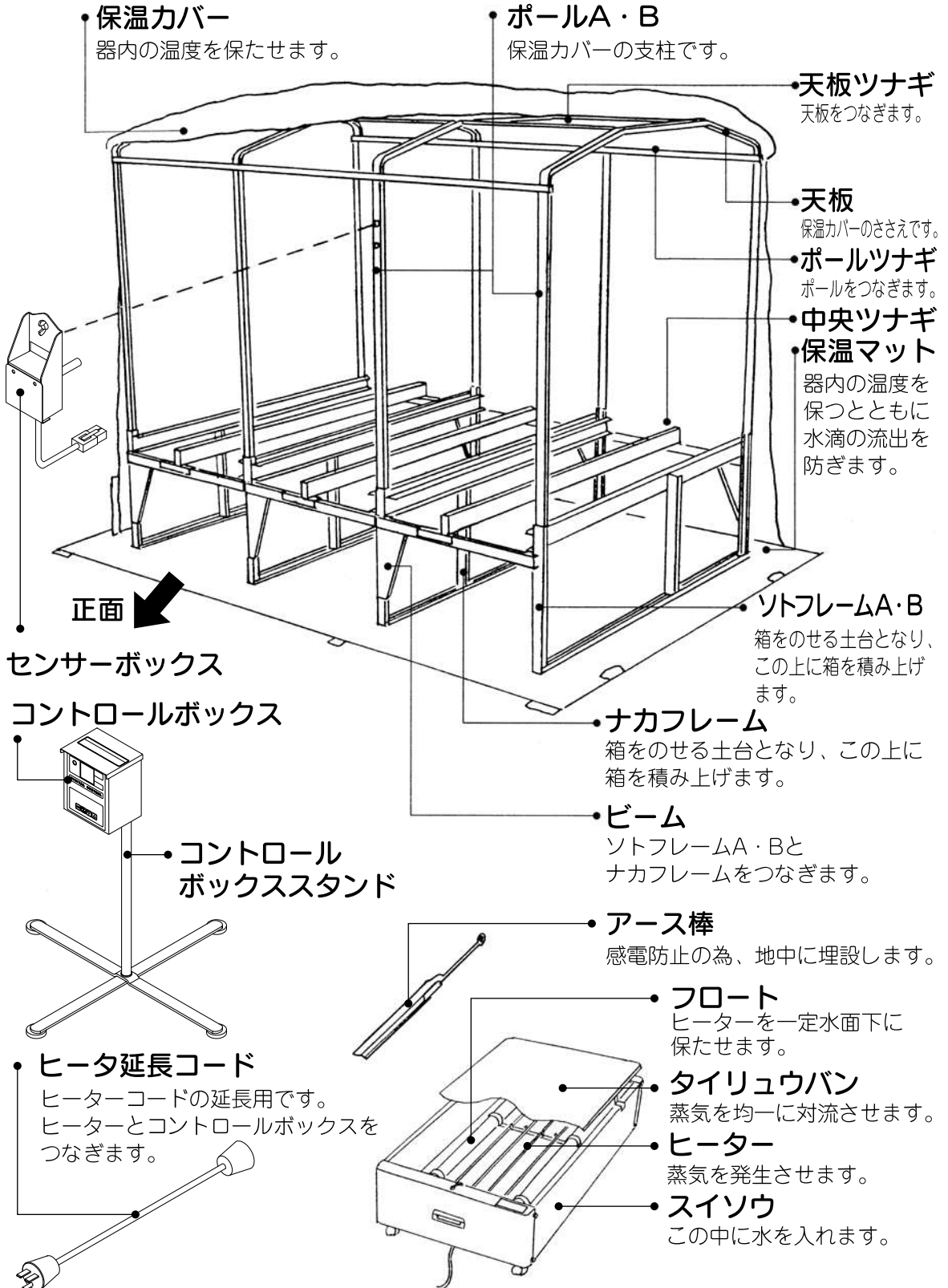
●SE-123V1～483

センサーで器内温度を検出し、ヒーターを自動的にON-OFF制御して設定温度に保ちます。



●SE-723・1083

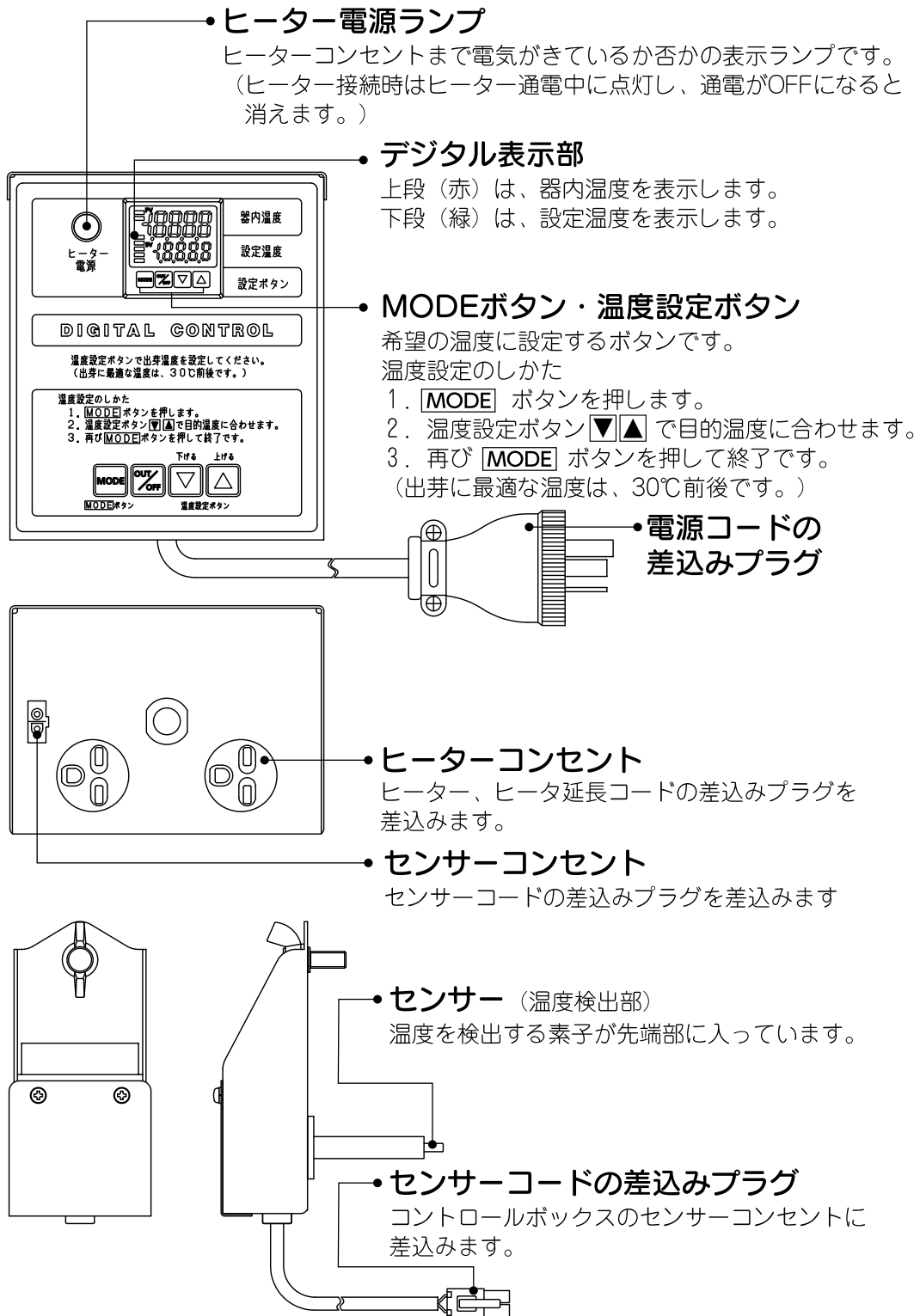
注) 絵はSE-363型です。



■コントロールボックス

●SE-723・1083

センサーで器内温度を検出し、ヒーターを自動的にON-OFF制御して設定温度に保ちます。



使用前の準備

⚠ 警告

- 準備作業は必ず電源コードを抜いた状態で行なってください。

1. 電源盤コンセントの確認

⚠ 警告

- 電源盤のコンセントは漏電ブレーカー付のコンセントを使用してください。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ずSE-123V1・243・363・483は1.25mm以上、SE-723・1083は2.0mm以上のコードを使用し、接続はオス・メスの防水コネクタを使用して確実に行なってください。
規定以下のコードを使用したり、コード同士を直接よって接続しますと、コード及び接続部が過熱し、ショートや火災のおそれがあります。
- SE-123V1の場合は、交流100Vで使用してください。直流100V（発電機など）での使用はしないでください。

- ① 電源盤のブレーカ容量は各型式に見合ったものを使用してください。（P19仕様参照）
- ② 漏電ブレーカは必ず必要です。

2. 作業前の通電確認

● SE-123V1～483

① コントロールボックス

- 1) コントロールボックスの電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込みます。デジタルが表示すれば正常です。
- 2) もし異常の場合はP18を参照して処置してください。

② ヒーター

ヒーターの点検はテスターにてヒーターの差込みプラグの導通を確認します。導通があれば正常です。

● SE-723・1083

① コントロールボックス・センサーボックス

- 1) センサーボックスのセンサーコードの差込みプラグをコントロールボックスのセンサーコンセント差込みます。
- 2) コントロールボックスの電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込みます。デジタルが表示すれば正常です。
- 3) もし異常の場合はP18を参照して処置してください。

② ヒーター

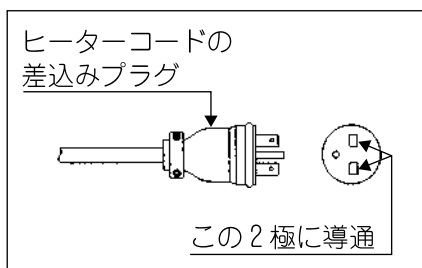
ヒーターの点検はテスターにてヒーターコードの差込みプラグの導通を確認します。導通があれば正常です。

3. 播種時の灌水量

- 灌水量は700g／箱程度にしてください。多すぎても少なすぎても出芽ムラの原因となります。

補 足

- 灌水量が多すぎると過湿の為、根の発育が極端に悪くなります。



作業のしかた

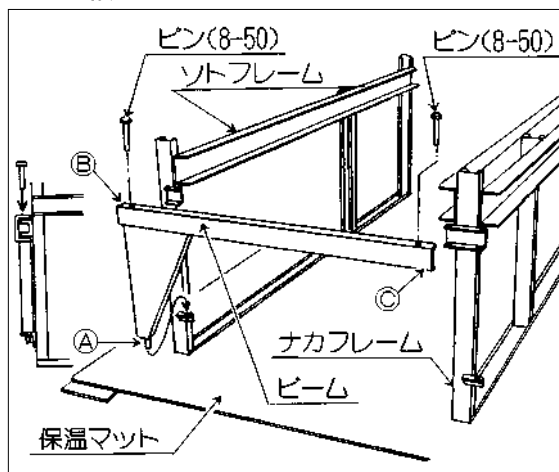
1. 設置場所の選定

⚠ 警告

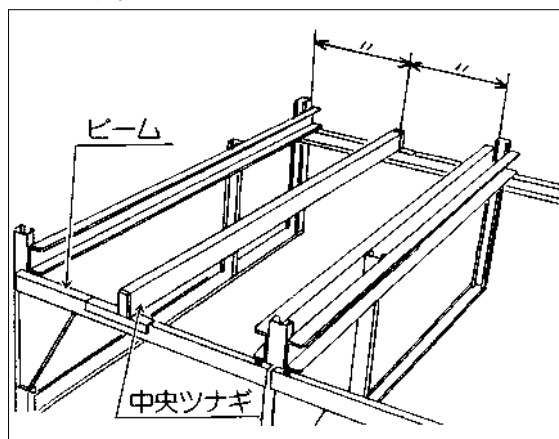
- 雨や直射日光の当たらない屋内に設置してください。コントロールボックス、センサーボックス（723・1083）に雨がかけると感電や火災のおそれがあります。
- 水平で固い所を選んでください。傾斜地や柔らかい地面では苗箱が傾き、倒れるおそれがあります。

2. 土台枠の組立て

- ① 保温マットを敷きます。向きは型式名の表示がある方を正面（コントロールボックスを設置する側）にします。
- ② ビームのA部をフレームに差し込み、B部とフレームをピン（8-50）で接合します。
- ③ ビームのC部とフレームをピン（8-50）で接合します。



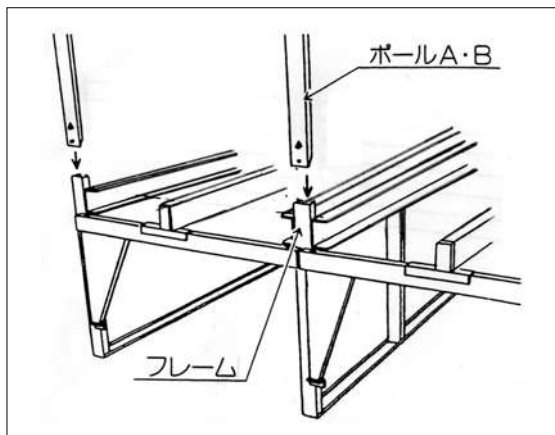
- ④ 中央ツナギの両端をビームの中央部に載せます。



- ⑤ 土台枠の4隅を保温マットのマーカに合わせます。

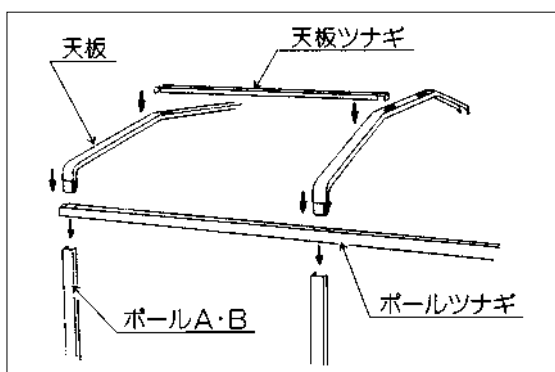
3. 上部枠の組付け

- ① ポールA・Bをフレームに差し込みます。差し込み位置は組立図（P10～12）を参照にしてください。特にコントロールボックスを取付けるポールA（穴あり）の位置に注意してください。



- ② ポールツナギ、天板、天板ツナギを組付けます。組付け位置は組立図（P10～12）を参照にしてください。

注. ポールツナギBは一端が幅広になっています。

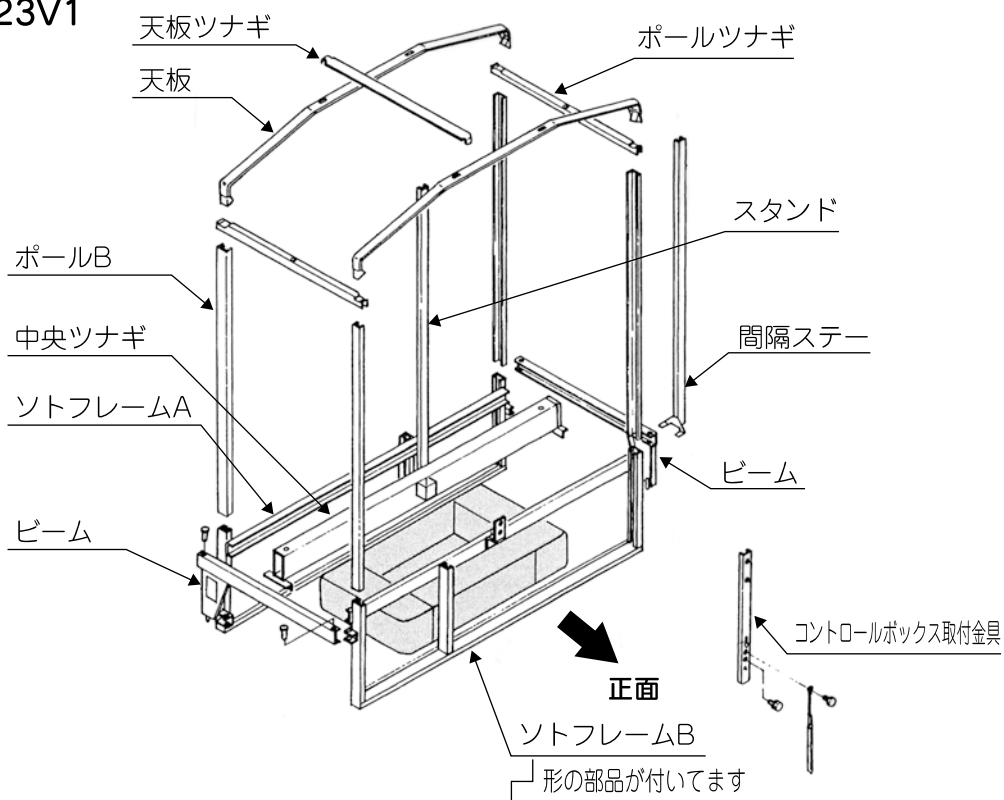


4. コントロールボックス取付金具の組付け (SE-123V1のみ)

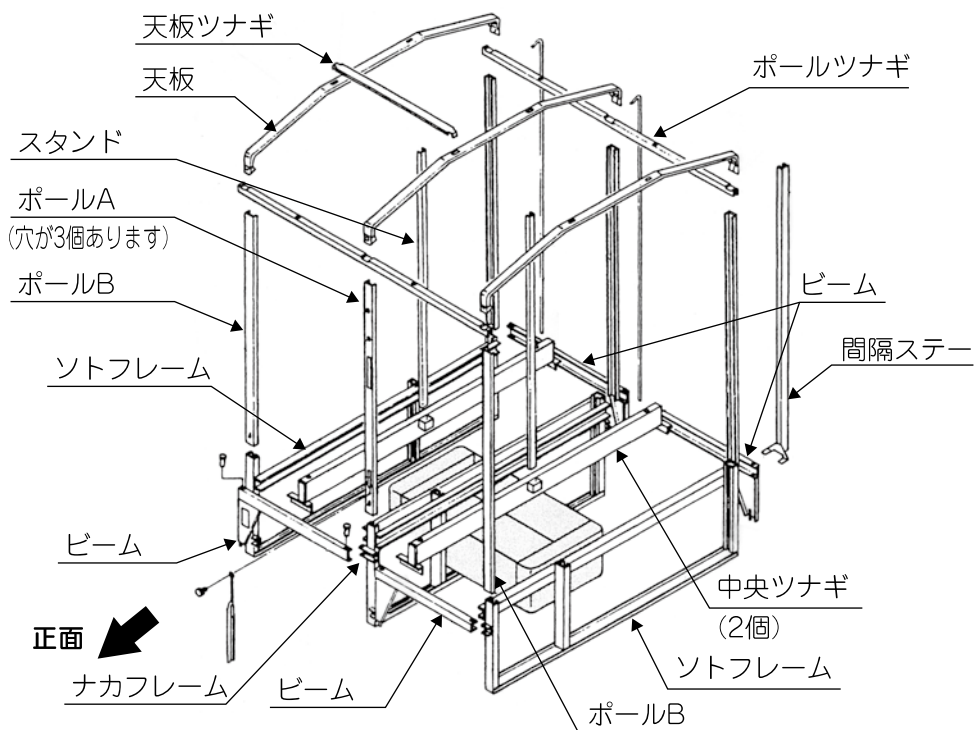
コントロールボックス取付金具をソトフレームBに取付けます。

ボルト（M6×14）……………2個

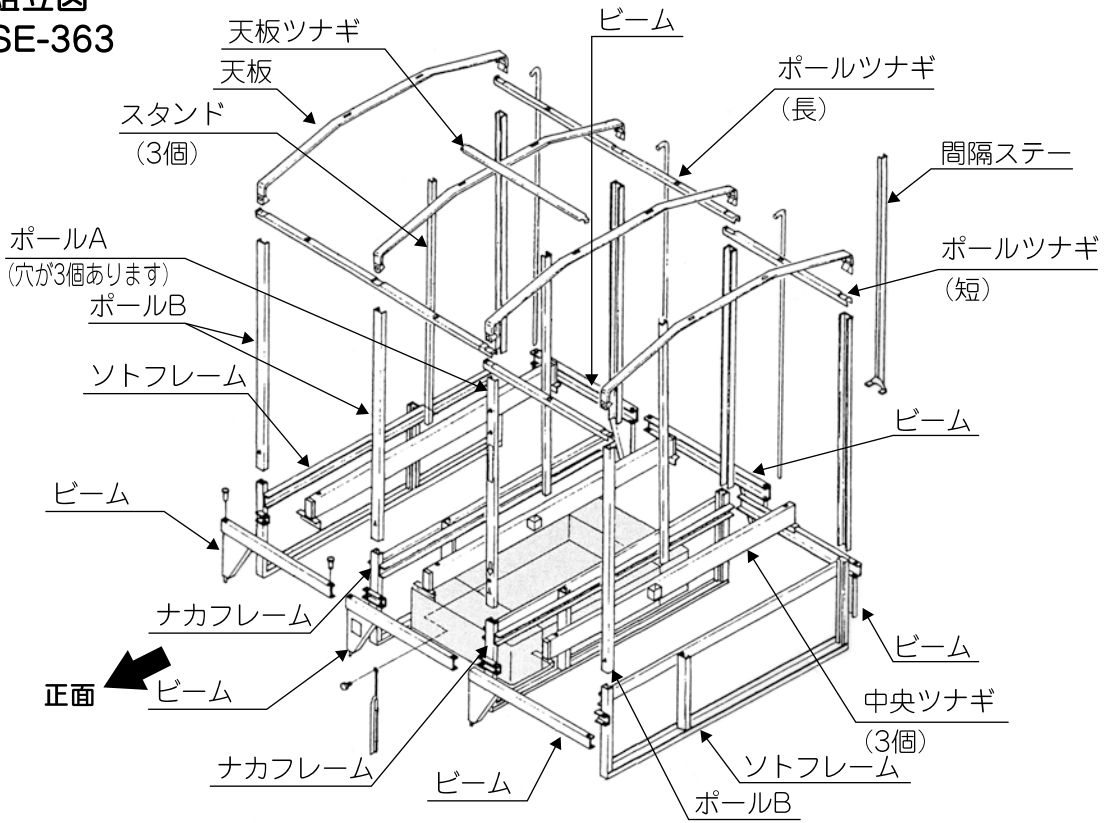
組立図
SE-123V1



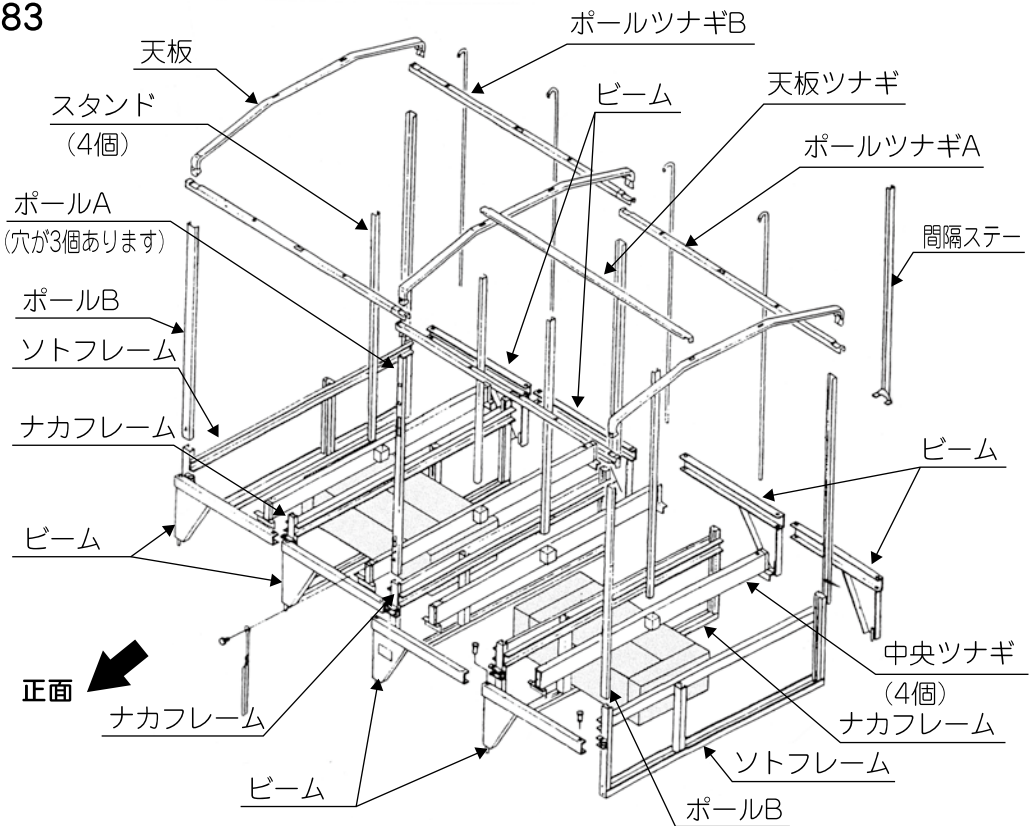
SE-243



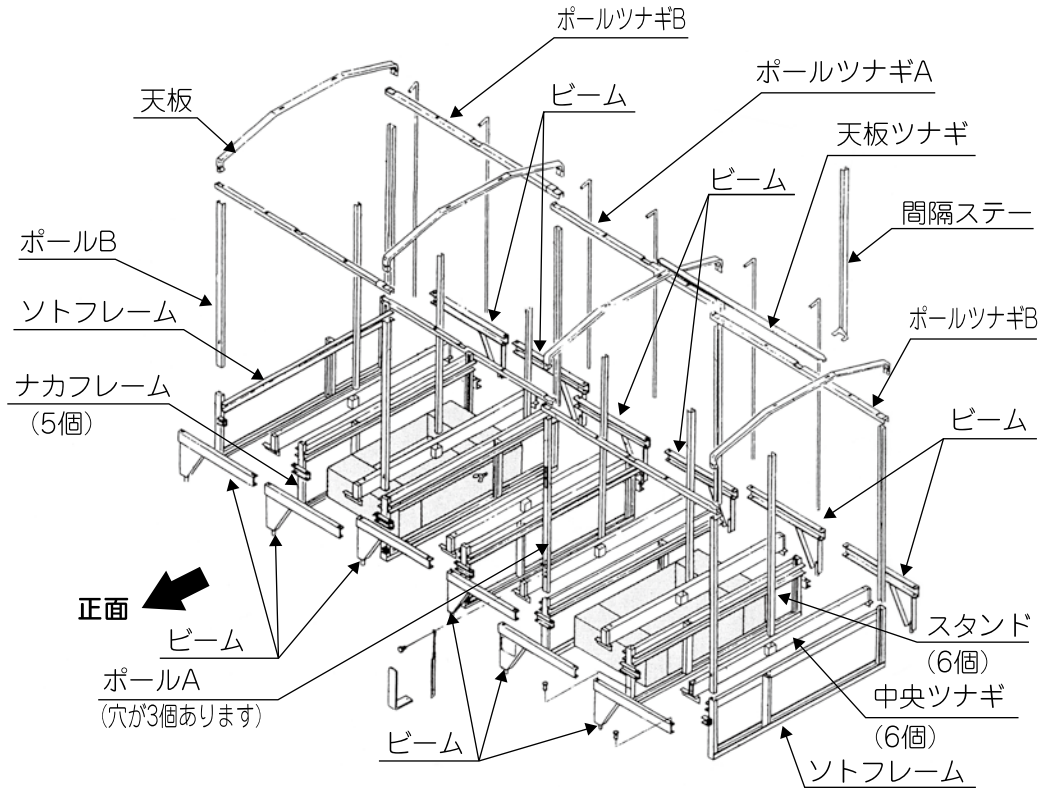
組立図
SE-363



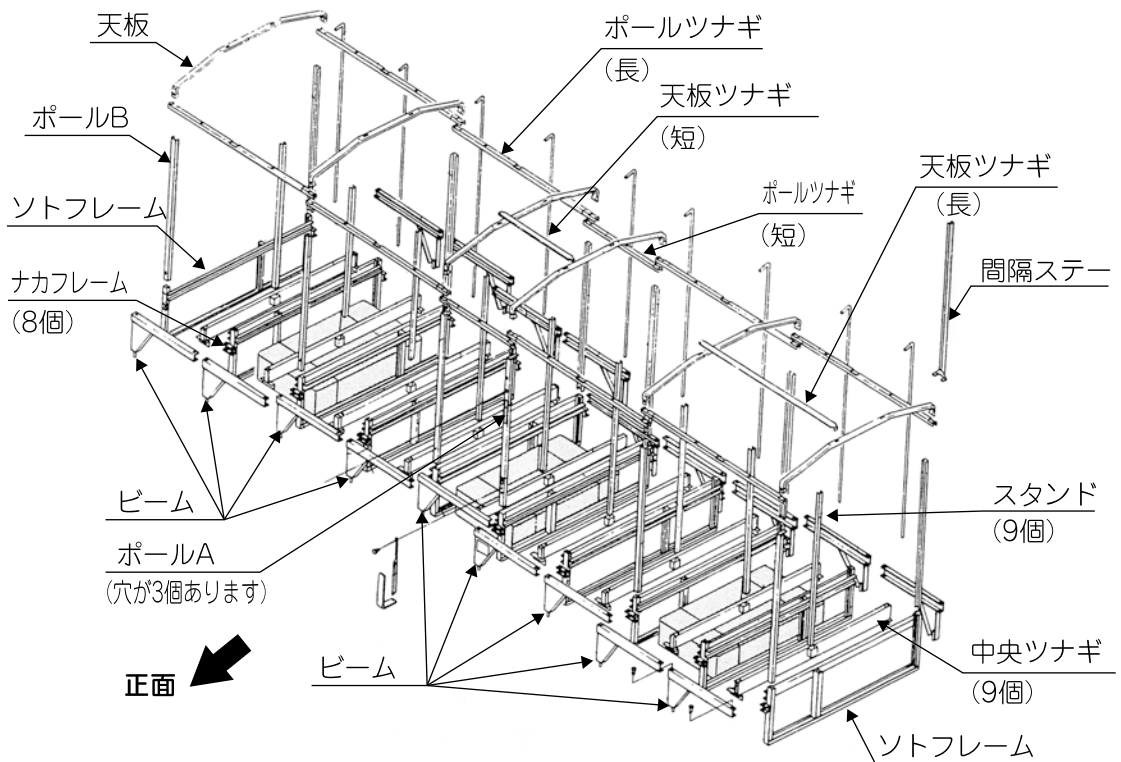
SE-483



組立図
SE-723

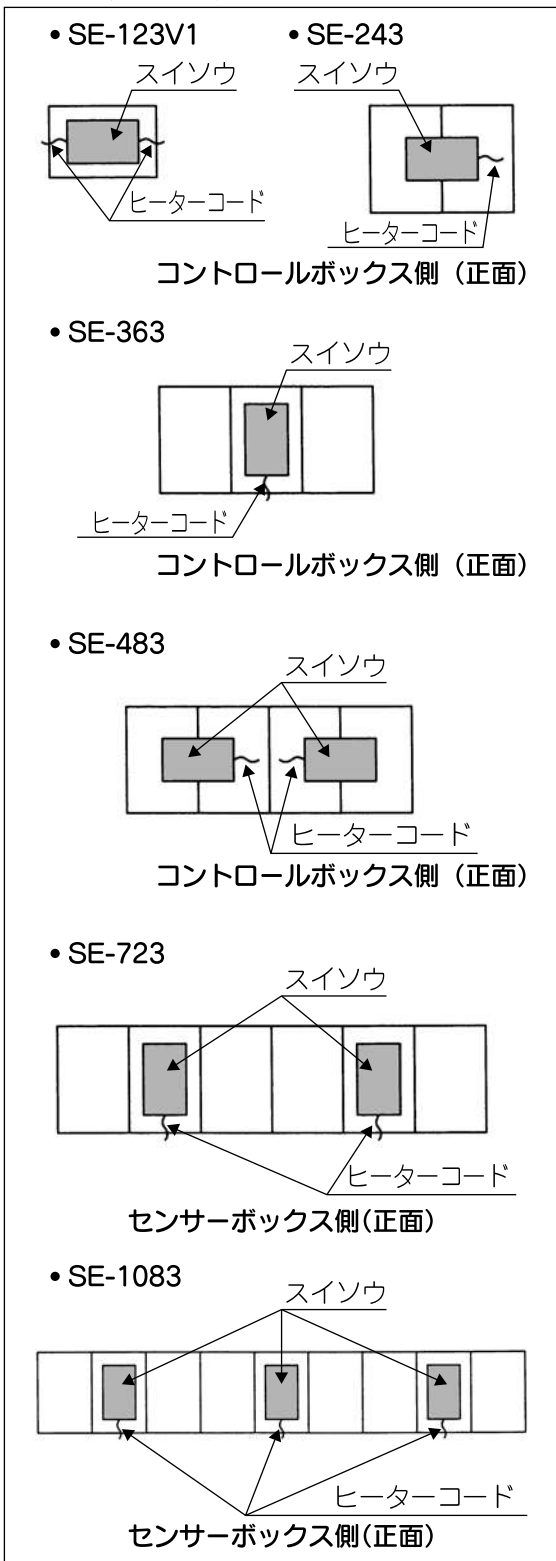


SE-1083



5. スイソウの設置

① スイソウの設置場所は型式によって異なります。下図の位置にヒーターコードの通っている方向に注意して設置します。



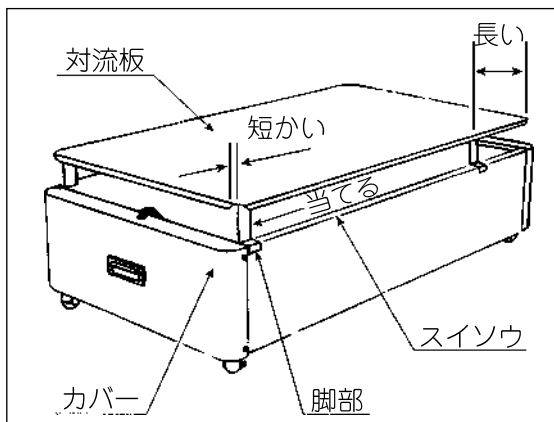
重要

- ヒーターコードがキャスターなどにはさまれないよう注意してください。
- ② 水をスイソウに必ず満杯まで入れます。このとき、ヒーターはほぼ水平で、わずかに水面より沈んでいるのが正常です。もし極端に傾斜している場合はヒーター位置をずらして修正してください。

警告

- 水は必ず満杯まで入れてください。もし、全く入れなかったり、極端に少ない場合は最悪火災に至ることがあります。

③ 対流板をスイソウに載せます。(SE-123V1 除く) このとき、対流板が水面を全面おおう位置にセットしてください。(対流板の端から脚部までの距離が短い方の脚部をスイソウのカバーに当てた位置)



補足

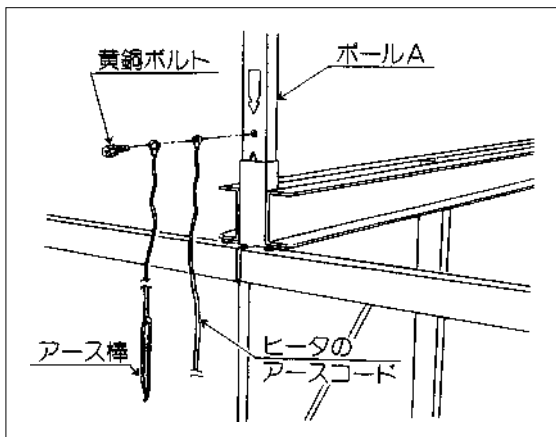
- 対流板は必ず水面全体をおおう位置にセットしてください。対流板位置がずれると出芽が不均一になる場合があります。

6. アースの接続

警告

- アースは必ず接続してください。アースを接続しないと感電のおそれがあります。
- アース棒は必ず地中に埋設してください。ガス管や水道管、電話や避雷針には絶対に接続しないでください。

アース棒の取付端子とヒーターのアースコード (緑色) をポールA (SE-123V1の場合にはコントロールボックス取付金具) に取付けます。
 黄銅ボルト (M8×14) …………… 1個

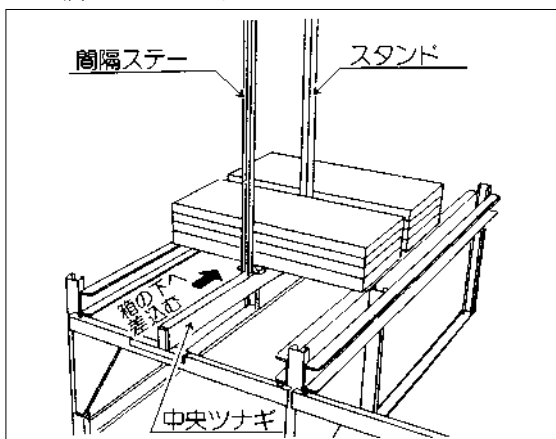


7. 苗箱の収納



- 苗箱は傾かないようまっすぐに積んでください。傾きがあると苗箱が倒れるおそれがあります。

- ① スタンドを中央ツナギの角パイプに差込み、これをゲージとして中央部より苗箱を積み重ねます。
- ② 間隔ステーを中央部に積み重ねた箱の外側にセットし（中央ツナギの上ののせて箱の下に差し込む）、これをガイドに次の列を積み重ねます。

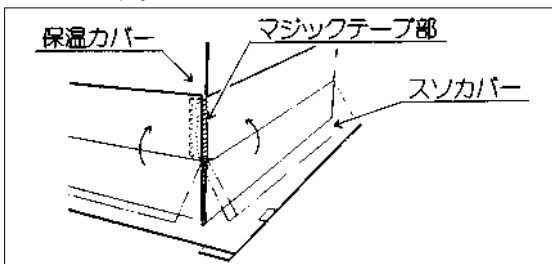


補 足

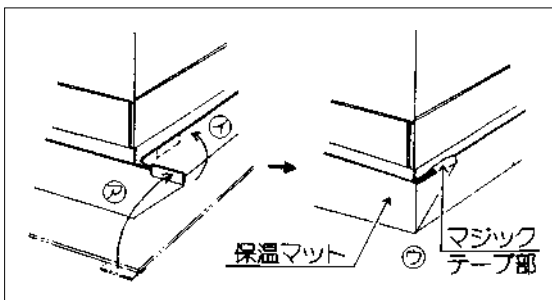
- もし、スタンド・間隔ステーを使用しないで積む場合でも、必ず箱と箱の間に30mmのすき間をとってください。すき間がないと出芽が不均一になります。
- 箱数が満杯に満たない場合は箱の高さが器内全面同一高さになるように積んでください。凹凸があると出芽が不均一になります。

8. 保温カバーのセット

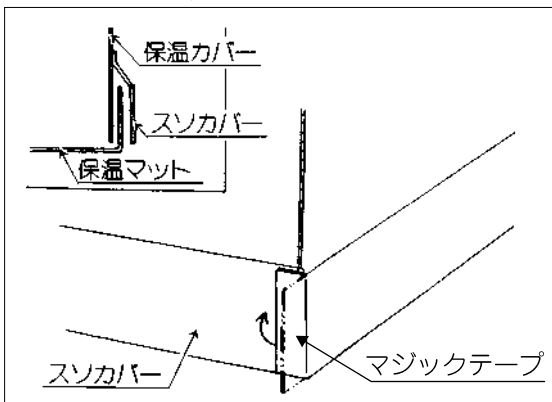
- ① 保温カバーの穴あり面をボールA（穴あり）側にして上部枠にかぶせます。（SE-123V1の場合は保温カバーの穴あり面をコントロールボックス取付金具の側に向ける）
- ② 4隅のファスナーを下まで閉じ、下側のスソカバーを上折ってマジックテープで止めます。



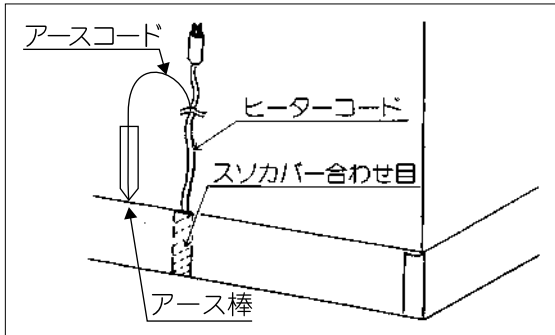
- ③ 保温マットを折り上げて、4隅をマジックテープで固定します。（㊦㊧㊨の順序で）



- ④ 保温カバーのスソカバーを下げ、マジックテープで固定します。



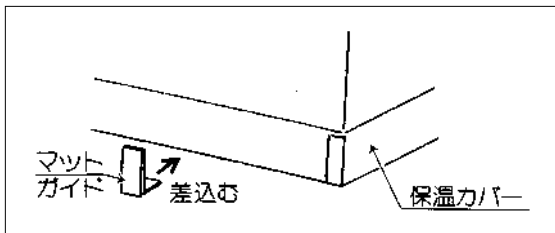
- ⑤ヒーターコードとアースコードを正面スノカバーの合わせ目から外に出します。折り上げた保温マットと保温カバーを先にマジックテープで止め、ヒーターコードとアースコードをはさみ込むようにスノカバー同士をマジックテープで固定します。



警告

- アースコードの長さが短かく、延長して使用する場合は1.25mm以上のコードを使用してください。

- ⑥アース棒を地中に埋めます。
⑦保温カバー下端でたわみの大きい所へマットガイドを差込みます。(SE-723、1083)



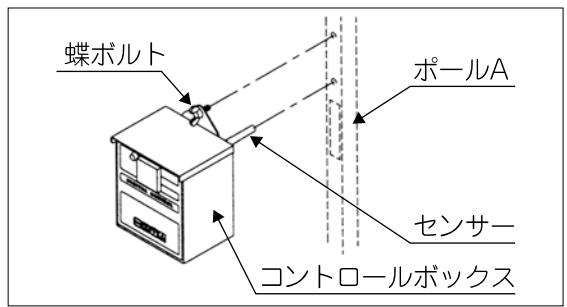
補足

- 保温カバーのファスナーは確実に下げ、保温カバーと保温マットのスノ処理はすき間がないよう、しっかりと固定してください。すき間があると、出芽時間が長くなったり、出芽が不均一になります。

SE-123V1~483

9. コントロールボックスの組付け

- ①保温カバーの穴とポールA (SE-123V1はコントロールボックス取付金具) の穴にセンサー部を差込み、蝶ボルトで固定します。



重要

- コントロールボックスは落下させたり、強い衝撃を与えないよう取扱いにはじゅうぶん注意してください。強いショックは故障の原因となります。
- ②ヒーターコードの差込みプラグをコントロールボックスの下側にあるコンセントへしっかりと差込みます。

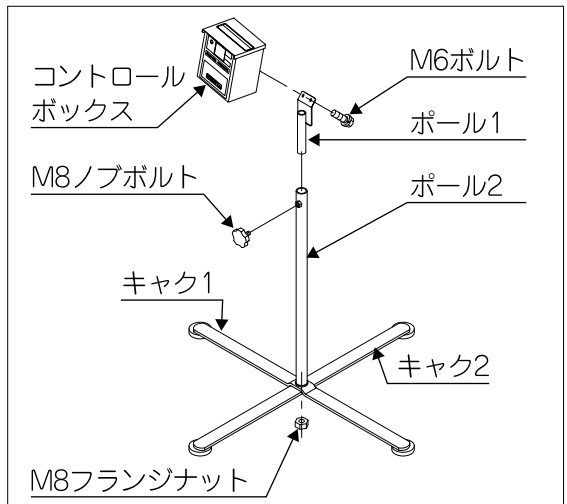
警告

- ヒーターコードの差込みプラグはしっかりと奥まで差込んでください。中途半端ですと発熱のおそれがあります。

SE-723・1083

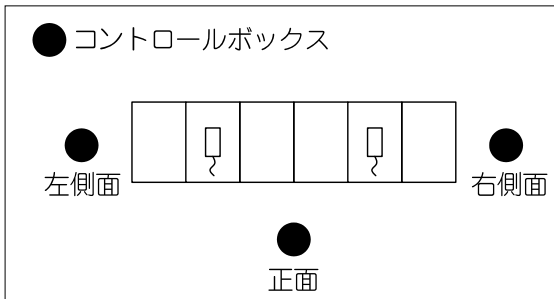
9-1. コントロールボックススタンドの組付け

- ①ポール2のネジ部をキャク1とキャク2の中央部に入れ、ナットで固定します。
M8 フランジナット…… 1個
- ②ポール1をポール2に差込み、ノブボルトで固定します。
M8 ノブボルト…………… 1個
- ③コントロールボックスをポール1にボルトで固定します。
M6 ボルト…………… 2個



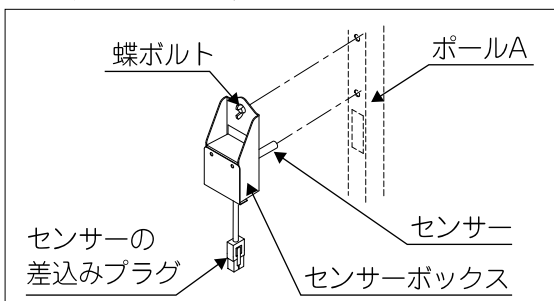
9-2. コントロールボックスの配置

下図の様に本機の正面、左右側面に配置できます。



9-3. センサーボックスの組付け

①保温カバーの穴とポールAの穴にセンサー部を差込み、蝶ボルトで固定します。



②センサーの差込みプラグをコントロールボックスのセンサー差込みコンセントに差込みます。

9-4. コントロールボックスとヒーターの接続

●ヒータ延長コードはコントロールボックスから遠いヒーターに使用してください。

①ヒーターコードの差込みプラグをコントロールボックスの下側にあるコンセントへしっかりと差込みます。

②ヒータ延長コードを使用する場合は、ヒータ延長コードのコネクタ凹部とヒーターコードの差込みプラグ凸部をしっかりと合わせてください。

⚠ 警告

●ヒーターコード、ヒータ延長コードの差込みプラグはしっかりと奥まで差込んでください。中途半端ですと発熱のおそれがあります。

重要

●コントロールボックスは落下させたり、強い衝撃を与えないよう取扱いにはじゅうぶん注意してください。強いショックは故障の原因となります。

10. 出芽作業

⚠ 警告

- 出芽器周辺には燃えやすいものを絶対に置かないでください。
- 出芽中に異常（器内温度が35℃以上、器体に触れると感電するなど）が発生したときはすぐに電源プラグを抜いてください。
- 出芽中（電源プラグを差込んでいる状態）は絶対に器内に入らないでください。

- ①電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込みます。
- ②設定温度は出荷状態で30℃に設定されていますが、変更される場合は、設定温度ボタンで希望の温度に設定します。(P 5、7 参照)
出芽に最適な温度は30℃前後です。
- ③芽（鞘葉）の長さが10mm程度に伸びたら出芽作業は完了です。外気温にもよりますが、ほぼ2 昼夜～2 昼夜半です。

11. 苗箱の取出し

⚠ 警告

●電気の通電中及びOFF後30分間はヒーターへ絶対に触れないでください。

- ①電源コードの差込みプラグを電源コンセントから抜きます。
- ②コントロールボックス、保温カバーを外し、苗箱を取出します。

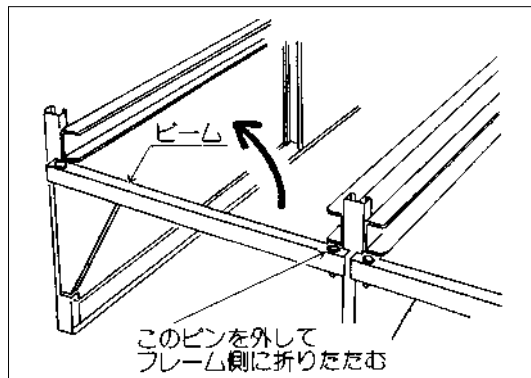
■催芽作業（本器で催芽作業する場合）

土台の組付け、スイソウの設置、上部枠の組付け、アースの接続、保温カバーのセット、コントロールボックスの組付けは出芽作業と全く同一です。注意事項も同様です。

- ①土台全面に苗箱を裏返しにして、1 段だけ載せます。このとき、箱と箱の間に30mmのすき間をとってください。
- ②その上にじゅうぶんに浸水した麻袋を敷きます。
- ③じゅうぶんに浸種（積算温度100℃以上）された種籾を催芽パットに6～7 分目程度入れ、麻袋の上に間隔をおいて並べます。
- ④催芽パットの上をじゅうぶんに浸水した麻袋でおおいます。
- ⑤種籾にもよりますが、設定温度32℃で約24時間位でハト胸状態になります。

長期格納

- ①保温マット内の水の抜き方
付属の水垢とりで水をすくってください。
- ②土台枠の分解の際、「ビーム」は片側のピン（8-50）を外すだけでフレーム側に折りたたむことができます。
- ③本体は良く水洗いをして、乾いた布で良く拭いてください。
- ④カバー・マットは汚れを落とし、じゅうぶんに乾燥させてから保管してください。
- ⑤コントロールボックス、センサーボックス（723・1083のみ）は汚れを落とし、ダンボール箱に入れて保管してください。
- ⑥ヒーター・スイソウ・フロート・フロートツナギは良く水洗いして、乾いた布で良く拭いてください。特にヒーターはスケール（水あか）が附着しておりますと熱効率が悪くなりますのでタワシで強くブラッシングするか、ドライバーなどで軽くこするかしてスケールを落としてください。
- ⑦風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所に保管してください。



重要

- コントロールボックスのコンセント部、ヒーターコード、ヒータ延長コードの接続部は、水気を良く拭きとりサビつかない様に特に注意してください。
- 各コード類・カバー・マットはネズミの害にあわない様特に注意してください。

警告

- コントロールボックス、センサーボックスには水をかけないでください。感電や漏電のおそれがあります。

不調の原因と処置



警告

●点検・調整は必ず電源コードを抜いてから行なってください。

○……点灯 ×……点灯しない

現象		原因		処置
温度が 上がらない	デジタル表示	ヒーター 電源ランプ		
	表示しない	×	電源欠相 コントロールボックス故障	電源 点検修理(注1) 修理または交換
	正常に表示	×	電源欠相	電源 点検修理(注1)
	正常に表示	○	電源不良(正規電圧がきていない) ヒーター断線 カバー、マットのスノ処理 不適切 ヒーターコードの差込みプ ラグが差込まれていない	電源 点検修理(注1) ヒーター交換 正規にスノ処理する 確実に差込む
	Er07が点滅	×	センサーの故障 センサーコードの差込みプ ラグ(SE-723・1083)が 差込まれていない	センサー交換 確実に差込む
SE-123V1	正常に表示	○	電圧降下	コードリールの使用をやめ るか、太いコードに変更
温度が 上がりすぎる	設定温度より 3℃以上を表示	○	コントロールボックス内部のリ レー又はマグネットリレーの故障	交換
		×	直射日光があたり器内温度上昇	カバーを開き換気する
漏電ブレーカー が落ちる	表示しない	×	電源コード漏電	電源コード点検修理(注2)
			ヒーター漏電	ヒーター交換
			コントロールボックス漏電	修理または交換
ノーヒューズブレ ーカー・モーターブ レーカーが落ちる	表示しない	×	ブレーカー容量不足 電源コード短絡(ショート)	適正容量のブレーカー と交換(P19参照) 電源コード点検修理(注2)
出芽ムラ 芽の出が遅い			灌水量の過不足 浸種が不じゅうぶん カバー、マットのスノ処理 不適切 スイソウの水が空	適正量(約700g) 灌水する 積算100℃以上浸種する 正規にスノ処理する 給水する
コントロールボッ クスから音がする	正常に表示	○	正規電圧がきていない コントロールボックス内部のリ レー又はマグネットリレーが故障	電源 点検修理(注1) 修理または交換

注1. 開閉器、各種ブレーカー、電源コンセント、差込みプラグ、延長コードの接続部などのコード端子部、ネジの締付け、また開閉器に於いてはヒューズなどを点検し、不具合があれば修理して下さい。

注2. ネズミなどの害によりコードが断線、短絡、漏電している場合があります。
作業前にじゅうぶんに点検し不具合があれば修理して下さい。

注3. その他のエラーメッセージが表示された場合は、ご購入店または弊社までお問合わせください。

仕 様

仕様		型式	SE-123V1	SE-243	SE-363	SE-483	SE-723	SE-1083
機体寸法	全幅(mm)		1,410	1,360	2,020	2,680	4,000	5,980
	奥行(mm)		700	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
	全高(mm)		1,685	1,685	1,685	1,685	1,685	1,685
収容箱数	木箱		100	200	300	400	600	900
	一般PP箱		120	240	360	480	720	1,080
使用電源			单相100V	三相200V	三相200V	三相200V	三相200V	三相200V
ブレーカー容量電流			15A	10A	15A	15A	15A	20A
消費電流			12A	6A	9.5A	12A	13.9A	16A
ヒーター消費電力			600W×1ヶ 600W	1.2kW×1ヶ 1.2kW	1.9kW×1ヶ 1.9kW	1.2kW×2ヶ 2.4kW	1.6kW×2ヶ 3.2W	1.6kW×3ヶ 4.8kW
スイソウ			40ℓ×1ヶ	70ℓ×1ヶ	100ℓ×1ヶ	70ℓ×2ヶ	100ℓ×2ヶ	100ℓ×3ヶ

オプション

■ローダー

苗箱の収納・取出しが楽に行なえ、大変便利です。

適 応 機 種	品 番	品 名
SE-243~1083	11832-00000	ローダー

■稚苗用棚フレーム

稚苗の緑化のときに使用します。

適 応 機 種	品 番	品 名
SE-123V1	11825-00000	SE-121タナ
SE-243	11826-00000	SE-241タナ
SE-363	11827-00000	SE-361タナ

■乳苗用棚フレーム

乳苗の緑化のときに使用します。

適 応 機 種	品 番	品 名
SE-363	11817-00000	SE-361乳苗タナ
SE-483	11818-00000	SE-481乳苗タナ

■ビニールカバー

緑化のときに使用します。

適 応 機 種	品 番	品 名
SE-123V1	11825-81111	ビニールカバー
SE-243	11826-81111	ビニールカバー
SE-363	11827-81111	ビニールカバー
SE-483	11828-81111	ビニールカバー

安全説明確認カード

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

㊞

販売店・農協名

担当者

型式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の明るさに注意を払うこと。	
3. 設置場所は風雨や直射日光の当たらない屋内で、水平で固い場所を選ぶこと。	
4. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。	
5. 電源盤のブレーカ容量は各型式の消費電流に見合ったものを使用すること。	
6. 100Vを使用の場合は必ずAC（交流）100Vで使用すること。	
7. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクターを使用し確実に接続すること。	
8. スイソウには必ず満杯まで水を入れること。	
9. 苗箱は傾かないようまっすぐに積み重ねること。	
10. ヒーターコード、ヒータ延長コードのプラグはしっかりと奥まで差し込むこと。	
11. 電気の通電中及びOFF後30分間はヒーターに絶対触れないこと。	
12. アース棒は必ず地中に埋設すること。	
13. 出芽器の周辺には燃えやすいものを絶対に置かないこと。	
14. 電気の通電中は絶対に出芽器内に入らないこと。	
15. 異常（器内温度が異常に高い、感電等）発生時はすぐに電源プラグを抜くこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・修理は電源コードを抜いてから行なうこと。	
2. コントロールボックスのコンセント部、ヒーターコード、ヒータ延長コードの接続部はサビつかないように特に注意すること。	
3. プラグやコードが損傷したら、すぐ交換すること。	
4. コントロールボックスには絶対に水をかけないこと。	

蒸気出芽器

安全確認一覧表

基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。
3. 設置場所は風雨や直射日光の当たらない屋内で、水平で固い場所を選ぶこと。
4. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。
5. 電源盤のブレーカ容量は各型式の消費電流に見合ったものを使用すること。
6. 100Vを使用の場合は必ずAC（交流）100Vで使用するこ
7. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクタを使用し確実に接続すること。
8. スイソウには必ず満杯まで水を入れること。
9. 苗箱は傾かないようまっすぐに積み重ねること。
10. ヒーターコード、ヒータ延長コードのプラグはしっかりと奥まで差し込むこと。
11. 電気の通電中及びOFF後30分間はヒーターに絶対触れないこと。
12. アース棒は必ず地中に埋設すること。
13. 出芽器の周辺には燃えやすいものを絶対に置かないこと。
14. 電気の通電中は絶対に出芽器内に入らないこと。
15. 異常（器内温度が異常に高い、感電等）発生時はすぐに電源プラグを抜くこと。

点検・格納について

1. 点検・修理は電源コードを抜いてから行なうこと。
2. コントロールボックスのコンセント部、ヒーターコード、ヒータ延長コードの接続部はサビつかないよう特に注意すること。
3. プラグやコードが損傷したら、すぐ交換すること。
4. コントロールボックスには絶対に水をかけないこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 11342-5111-1